

千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。

第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。

第 4 条 本会は、次の事業を行なう。

1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
2. 各種研究会・講演会の開催。
3. その他本会の目的を達成するために適当と認められる事業。

第 5 条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 学長がこれにあたる。
2. 運営委員長 運営委員の互選による。
3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は1年とし本会の事務を分担する。

前 号 目 次

論 説

記憶の観点からの演劇研究 (3)

- 事例研究①：山崎正和『戯曲 二十世紀』
(1998)における集合的記憶としての「写真」
と「機械」——……………山下 純 照 (1)
- 自己愛と攻撃性の関係について……………相 良 陽一郎
相 良 麻 里 (37)

オペラ観から探るドライデンの外国意識

- *King Arthur*における政治的立場 —……………浦 口 理 麻 (61)

Developing an English Listening Course for Low

- Proficiency Japanese University Students……………*ELLSWORTH, Ian E.* (77)

Action Research: A case for task based language teaching……………*HARDY, Darrell* (93)

The Effect of Planning on Oral Output……………*ROBSON, Graham* (117)

研究ノート

Japanische Morphosyntax: kommentierte Übersetzung der

- Szene 'Seiyoo-zuki=no kiki-tori' 'Halbwissen eines
Liebhabers des Westens' aus dem ersten Band der
Kurzgeschichtensammlung 'Aguranabe' von Kanagaki
Robun……………*SPONHEIM, Olaf* (143)

抄録…………… (179)

その他

平成17年学外研究活動報告…………… (183)

千葉商大紀要第43巻総目次…………… (189)